

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学方法論Ⅲ （健康課題と保健活動）	3年次 前期	必修	講義	1単位 （30時間）	池田 由貴 ※
授 業 概 要					
健康課題別の保健福祉サービスの諸制度とその中で機能する公衆衛生看護活動の実際を学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 障害者（児）保健の理念・動向をふまえ、障害者（児）の地域社会における共生にむけた保健福祉活動について理解する。 2. 精神保健の理念・動向をふまえ、心の健康づくりのための精神保健福祉活動について理解する。 3. 難病保健の理念・動向をふまえ、難病療養者のQOL向上にむけた難病保健活動について理解する。 4. 歯科口腔保健の理念・動向をふまえ、生涯を通じた歯科保健活動について理解する。 5. 感染症保健の理念・動向をふまえ、感染症の予防及び発生時の感染症保健活動について理解する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-7	1. 地域における障害者（児）保健福祉活動 1) 障害者（児）保健の理念・動向 2) 障害者（児）保健福祉の主な施策 3) 障害者（児）保健活動の実際 4) 精神保健福祉活動の実際 （こころの健康・自殺・依存症・ひきこもり・緊急時の対応）				池田 由貴 ※
8-9	2. 難病保健活動 1) 難病保健の理念・動向 2) 難病保健施策 3) 難病保健活動の実際				
10	3. 歯科口腔保健活動 1) 歯科口腔保健の理念・動向 2) ライフステージに応じた歯科口腔保健施策 3) 歯科口腔保健活動の実際				
11-15	4. 感染症保健活動 1) 感染症保健活動の理念・動向 2) 感染症保健の関係法令と施策 3) 感染症保健活動の実際				
学 習 方 法					
講義					
評 価 方 法					
[評価方法] 科目修了試験による評価を行う。					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
[教科書] 公衆衛生看護.jp 荒賀直子 インターメディカル 公衆衛生がみえる 医療情報科学研究所 メデック・メディア 厚生指針 国民衛生の動向 厚生統計協会					